

令和3年度 事業報告書

No	事業項目	事業内容
I	歴史的風土及び文化的資産の保存及び活用に関する普及啓発事業	<p>1. 財団設立 50 周年記念事業</p> <p>(1) 飛鳥・藤原世界遺産フォーラム「飛鳥学講演会」開催 (明日香村・読売新聞社共催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査報告「世界遺産登録と中尾山古墳」 明日香村教育委員会文化財課課長補佐 西光 慎治氏 ・基調講演「飛鳥の宮殿から藤原京へ」 京都橘大学名誉教授 猪熊 兼勝氏 <p>※12/4 (土) に東京で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止。11/16 (火) 健康福祉センター「たちばな」にて撮影した内容を 12/24～1/31 まで YouTube にてオンライン配信。 視聴回数 1,255 回</p> <p>(2) 「飛鳥・藤原まると博物館」検定の実施 世界遺産登録に向け、飛鳥・藤原ファンの裾野を広げ、飛鳥・藤原の価値を高めることを目的とし、検定試験委員会において検定の仕組みを議論。 本年度、公式テキスト作成開始。 検定試験委員会 4 回開催 (5/18、7/6、8/24、10/7) ※プロフェッショナルガイド養成業務受託 (明日香村)</p> <p>(3) 「飛鳥への招待」発刊 飛鳥学冠位叙任試験問題作成委員による叙任試験の連載記事 (読売新聞) を一冊にまとめ、飛鳥散策の入門書として中央公論社より発刊。 発行部数 5,000 部の内 1,000 部を買上げ、財団事務局や村内施設で販売。</p> <p>(4) 財団情報のデジタル化推進 財団事業がホームページ上で視覚的に分かりやすく伝わるような構成にリニューアルを行い、個人特別会員への加入手続きを簡素化するなど、情報発信力の強化を行った。</p> <p>2. 令和あすか塾の開催</p> <p>① 「飛鳥の鷗尾」 講師 奈良文化財研究所都城発掘調査部 考古第 3 研究室 アソシエイトフェロー 道上 祥武 氏 5/15 (土) 参加者 23 名</p>

No	事業項目	事業内容
	<p><続く></p>	<p>②「飛鳥時代・貴人の柩」 講師 奈良県立橿原考古学研究所 副所長 岡林 孝作 氏 7/17(土) 参加者 32名</p> <p>③「日本国の誕生と古墳の終焉 —中尾山古墳の発掘調査成果を中心に—」 講師 明日香村教育委員会文化財課 主任主事 辰巳 俊輔 氏 10/30(土) 参加者 32名 (※台風14号接近に伴い、9/18から日程変更)</p> <p>④「考古学からみる大官大寺の実像」 講師 奈良文化財研究所都城発掘調査部 考古第2研究室 研究員 山藤 正敏 氏 11/20(土) 参加者 31名</p> <p>⑤「飛鳥京跡苑池—その最新発掘調査成果—」 講師 奈良県立橿原考古学研究所 主任研究員 鈴木 一議 氏 1/15(土) 参加者 31名</p> <p>⑥『万葉集』『懐風藻』からみる壬申の乱」 講師 万葉文化館 指導研究員 井上 さやか 氏 3/19(土) 参加者 30名</p> <p>3. 広報紙発行事業 広報紙「飛鳥びと」発行 ・サイズ A3判(両面カラー刷り) ・発行回数 年2回(春、秋) ・発行部数 各2万部 ・「飛鳥びと」インターネット版配信 ・財団創立50周年、高松塚古墳壁画発見50周年 特別号として発行 ・飛鳥総合案内所、村内関係機関にて頒布</p> <p>4. 「飛鳥応援大使」の活動 ・新規6名委嘱 ・毎月「応援大使便り」としてメールにて飛鳥の 最新情報を発信。SNS等を利用し、大使のネット ワークで情報を広げてもらう。</p>

No	事業項目	事業内容
	<p><続く></p>	<p>5. 連携事業の実施</p> <p>①奈良大学との連携事業 周遊ウォーク 「飛鳥京から平城京を辿る」Part1 飛鳥京周辺を歩く 講師 奈良大学 准教授 相原 嘉之 氏 10/16 (土) 飛鳥駅を出発し天皇陵、古墳、宮跡を巡る。 飛鳥寺を拝観後、飛鳥資料館がゴール。 飛鳥京から平城京までを辿るシリーズ 参加者 30名</p> <p>②帝塚山大学との連携事業 公開講座と現地ウォーク 「古都飛鳥 遺跡さんぽーやさしい歴史教室ー」 講師 帝塚山大学 教授 清水 昭博 氏 帝塚山大学 講師 戸花 亜利州 氏 9/12 (日) 小雨決行 明日香村中央公民館にて講義。川原寺へ移動。 裏山遺跡にて現地講義後、川原寺にて写経体験。 参加者 10名</p> <p>6. SNS等を活用した情報発信の充実</p> <p>7. 明日香村観光交流活性化事業への協賛</p> <p>8. 写真コンクール事業実行委員会に協力・協賛</p>
II	<p>歴史的風土の保存及び活用に関する文化財等保存事業</p>	<p>・文化財保存事業に関する助成 無住社寺等の修復助成 祝戸 専称寺 境内の石積擁壁新設工事 祝戸 専称寺 境内の御堂の改築 御園 天神社 柵補修工事及び階段手摺設置工事</p>
III	<p>歴史的風土の保存及び活用に関する住民活動向上に関する事業 【※収益事業含む】</p>	<p>1. 農産品直売所（夢販売所）への土地貸与による農業振興への協力</p> <p>2. 観光レンタサイクル・小型EV自動車(ミチモ)貸出事業への土地貸与による協力 ※収益事業</p> <p>3. 地域文化向上に関する助成 ①明日香村文化協会の育成 ②明日香村伝承芸能保存会の育成</p> <p>4. 村内行事に協賛助成</p>

No	事業項目	事業内容
IV	歴史的風土の保存及び活用に関する景観向上事業 ※緑の募金事業助成金の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的風土花修景事業 <ul style="list-style-type: none"> ①地元住民、ボランティアグループ等（みんなでつくる飛鳥駅前花風景の会サポーター）と連携した飛鳥駅前の景観整備作業 <ul style="list-style-type: none"> ・花壇リフォーム(4/26(月)) ・除草作業(7/4(日)) ・かかし補修・設置 (8/23(月)) ・干し大根作り (12/6(月)) ・漬物作り/葉ボタン植付け (12/20(火)) ・漬物袋詰め作業 (1/24(月)、31(月)) ※ほかに月2回の定例作業（花苗植栽、除草作業）を実施。 ②飲料自動販売機による飛鳥保存への募金 <ul style="list-style-type: none"> 村内観光機関・飲料会社に協力を呼びかけ、売上金の一部を花と緑による飛鳥の景観保存・創出に活用 ③花いっぱい推進事業(国民文化祭等関連事業) 助成金の活用（2年目） ((公財)奈良県緑化推進協会)
V	歴史公園維持管理受託事業 (特別会計)	<ul style="list-style-type: none"> ・国営飛鳥・平城宮跡歴史公園維持管理業務の受託 平成30～34 国営飛鳥・平城宮跡歴史公園運営維持管理業務を飛鳥・平城宮跡歴史公園サポート共同企業体の一員として業務を受託。 主に企画運営管理（広報宣伝）、利用者指導及び利用者サービス業務を実施。 ①広報宣伝業務 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント案内チラシ作製 (スケッチコンクール、公園フォトコンテストなど) ・四季ポスター作成（飛鳥） ・WEB 広告掲載 ・交通機関への広告掲出 ・ホームページ管理 ②利用者指導及び利用者サービス業務 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史公園館受付業務
VI	総合案内等事業(特別会計)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 飛鳥保存啓発や発掘情報、イベント情報、観光案内、地場製品の紹介など多様な情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙「飛鳥びと」の頒布 ・大型マップによる飛鳥案内及び液晶ディスプレイによる飛鳥関連映像の紹介

No	事業項目	事業内容
	<続く>	<ul style="list-style-type: none"> ・飛鳥見学に必要な資料、図書、地図等の充実整備と頒布 2. 道の駅施設の貸与 <ul style="list-style-type: none"> ・「道の駅飛鳥」中核施設として案内所及び駐車場用地を明日香村に貸与 3. 道の駅飛鳥管理運営委員会への参画 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度第1回委員会（3/28(月)） 4. 飛鳥保存の募金型自動販売機設置（継続） 5. 万葉花の植栽や清掃による近鉄飛鳥駅前美化運動
VII	研修宿泊所「祝戸荘」の経営（特別会計）	<ul style="list-style-type: none"> 1. 飛鳥時代の歴史や伝統文化を研修内容とする「令和あすか塾」セミナーを開催（全6回）※再掲 2. 宿泊研修施設の設置管理を行う新たな事業者を選定するための国営飛鳥歴史公園事務所によるの公募への協力 3. 現有建物等の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・植物等管理、排水処理、台風・大雨対策 防犯や盗難対策
VIII	高松塚壁画館の経営（特別会計）	<ul style="list-style-type: none"> 1. 本年度入館者 47,154人 前年比 115% 2. 利用促進活動 <ul style="list-style-type: none"> ・第19回関西文化の日への参画 11/12（金）401人 ・高松塚古墳壁画公開ならびにキトラ古墳壁画公開（文化庁主催）時に壁画館入館割引チケットを配布 ・壁画発見50周年記念無料開館 3/21（月・祝）726人 3. 施設の有効利用と保全管理 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策（体温測定器や消毒液の設置、定期的な換気、施設内の消毒等） ・壁画館展示品の保全管理 ・窓口業務などの直営化による管理運営費の削減 ・委託契約に基づき運営支援業務を明日香村に委託

No	事業項目	事業内容
	<p><続く></p>	<p>4. 割引利用券発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ THE KASHIHARA ・ 近畿日本鉄道（あみまクラブ、KIPS カード、大和を歩こう） ・ 日本自動車連盟 ・ 特別共通券（石舞台、酒船石遺跡） ・ 大和四寺共通拝観券 <p>5. 壁画発見50周年記念事業の実施</p> <p>(1) 解説書のリニューアル</p> <p>高松塚古墳壁画発見50年を記念して、約13年ぶりに改訂を行う。執筆・編集を奈良大学准教授 相原嘉之氏に担当いただき、内容を最新情報に更新するとともに図版も大幅に刷新した。販売を壁画館だけでなく、関係機関のミュージアムショップにも拡大した。</p> <p>(2) 記念シンポジウム「未来へつなぐ高松塚」 （主催：明日香村 共催事業） 令和4年3月21日（月・祝） 奈良県立万葉文化館 講演：「高松塚古墳における調査研究の歴史的意義」 関西大学 教授 米田 文孝氏 「文武朝の朝政整備と高松塚古墳の壁画」 阪南大学 教授 来村 多加史氏 パネル討論：<パネリスト> 米田文孝氏、来村多加史氏 森川裕一氏（明日香村長） <コーディネーター> 西光慎治氏 （明日香村教育委員会文化財課課長補佐）</p> <p>(3) 万葉衣装展の開催（国営飛鳥歴史公園共催） 高松塚古墳壁画に描かれた女子群像、男子群像をテーマとした万葉衣裳を壁画館と歴史公園館で展示。 壁画館では、冠位十二階の衣裳を展示。 3/19（土）～4/15（金） 参加者 8,449人</p> <p>(4) 広報紙「飛鳥びと」発行（再掲） 高松塚古墳壁画発見50周年特別号として発行</p> <p>(5) オリジナルフレーム切手の販売協力 壁画発見50年を記念してフレーム切手の販売が県内郵便局で始まったことを受け、村内施設でも販売が可能となり、壁画館においても取扱いを行う。</p>